

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和8年2月27日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100500
法人名	有限会社 友星メディカル
事業所名	グループホーム 谷山中央
所在地	鹿児島県鹿児島市谷山中央二丁目609番地1 (電話) 099-268-1765
自己評価作成日	令和8年1月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和8年2月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設内の明るい雰囲気と毎日の手作りの食事が特色。支援の方向性としてご利用者の残存機能を生かした自立支援を心掛け、必要以上に介入をしないよう意識し、GHで暮らしている利用者方の可能な限り自立した生活のお邪魔にならないことを主として生活支援に取り組んでいます。毎日買い出しに出ることで季節の旬の食材を様々な形で提供できており、内容多彩な食卓となっており好評を得ております。ご利用者の誕生日には食べたい物を伺い、提供しており喜ばれております。緊急時には連携機関であるみらいリハビリテーション病院のホットライン対応、また医療連携行っている訪問看護ステーションと連携、指示を仰ぐ体制ができており、訪問看護は定期、週1回の訪問の協力もある。ご利用者様の体調不良時にはご家族等も協力いただきながら医療機関への迅速な初期対応支援が円滑にできてます。ご家族方には入居時から懇切丁寧にGHは利用者方にとって自宅であることをご理解いただけるよう努めており、自宅に家族の出入りがないことは物悲しいことであるも事の機会に共有、ご理解いただくなかで、GHとご利用者への関わる機会が途切れない様に努めております

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、ボランティアや実習生の受け入れを感染状況を把握し、換気に十分配慮しながら受け入れている。
- ・希望のかかりつけ医を大事に、連携しながら医療支援し、訪問看護ステーションと24時間医療連携体制で週1回の訪問看護で健康管理・緊急時は連携機関である協力医療機関のホットライン対応で適切な医療を受けられるよう支援している。
- ・食事については毎日、食材の買い出しで旬の野菜を取り入れ調理し、行事食も手作りや誕生日には好みを聞いて肉料理やちらし寿司等を提供している。毎月、食事イベントを開催しピザ、パエリア、海鮮ちらし寿司等を食べたり、楽しめるよう工夫している。
- ・アットホームな雰囲気の中で、管理者や職員は明るく利用者と接し、面会時も状況に応じて臨機応変に快く対応している。
- ・職員同士も仲がよく、気軽に相談でき話しやすく、管理者は職員の個人的な相談にも快く応じる等、働きやすい環境作りに努めている。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり，管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	1F2F各フロア目の届くところに理念掲示し毎朝申し送り後に職員全員で理念を唱和し理解を深めるよう日々努めている。申し送り後の朝に唱和、共有することにより日常的に理念を意識付けできるようにしている	理念はパンフレットに掲載し、各フロアに掲示している。毎朝申し送り後に職員全員で理念を唱和し共有してケア実践につなげている。日常的に理念を意識付けできるように、毎月のミーティングで振り返りをしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう，事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に参加し、役員の変更などを共有できるようにしている。その中でホーム前の桜の散策や最寄り公園のコスモスに外出するなど感染対策講じながら参加している	町内会に加入し回覧板は廃止となり運営推進会議で地域情報を得て地域行事は減少し、役員の変更等を共有している。高校合唱部の慰問受け入れや高校生の実習受け入れもある。買い物や散歩時の挨拶で言葉を交わしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	定期的に行う運営推進会議などにて地域の方(主に民生員等)参加いただき、事業所に認知症の情報などを提供するよう努めている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの様子、利用者様の様子、室内行事の取り組み等を報告し事業所状況開示行っている。意見や助言は常にサービス向上に生かしている。	定期的に開催し、入居者状況・行事等の活動報告・事故報告・外部調査結果の報告をしている。意見や助言はサービス向上に活かしている。地域包括支援センターにファックスで報告し家族へは会議参加時に議事録を渡している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	日常のサービス提供について疑問等が生じた場合、役所との担当に相談し、迅速に解決に努めている。事故発生時には速やかに報告行っている。更新認定や保護課などとはコロナ禍であるも必要時訪問行っている	市担当者とは窓口に出かけたり、電話相談し助言を貰っている。生活保護課に必要時は訪問している。生活保護課の訪問では入居者との面談や情報共有する等、連携・協力関係にある。介護相談員の受け入れや市主催の研修にリモートで参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束についての理解を深めるとともに一切の拘束を行わない様、周知行っている。入居者様に対しての言葉のかけ方も気をつけるようにしている	マニュアルが有り、委員会をユニット毎に毎月や3ヶ月毎に開催している。年3回内部研修で資料を準備し、禁止対象となる具体的行為等、各ユニットで意見交換し確認している。不適切言動がある場合はその時に声かけ指導している。玄関施錠はせず外出希望がある場合は声かけし、職員と一緒にホーム周辺を散歩している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年度の虐待委員会開催と内部研修にて防止について学び、実践に努めている。また、マニュアル完備も行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	施設研修にて理念擁護の勉強会を開催行っている。また管理者より適時情報提供に努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には時間をかけて丁寧かつ十分な利用説明に努めている。常に家族や利用者方の立場に立ち不安や疑問が生じないように初期のインテーク時に注意を払っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日々の生活の場における利用者様の意見やご家族の意見を組みとり、運営へ反映させられるように努めている	利用者からは日々の関わりの時や声掛けがあった時等に意見や要望を汲み取っている。家族からは面会時や電話・メール等で状況報告し、家族会でも聞いている。2ヶ月に1回写真と担当者が生活状況や健康状況等を一言添えて郵送報告し、意見や要望を表せる機会を設け、それに対応し反映させている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日常的に話をする機会がある。ホームでの研修や勉強会を通じて知識を培い、専門的な話合いが出来る様努め、意見の提案も反映させている。	管理者は月1回のミーティングや各ユニットミーティング、申し送り等、日常的に話す機会が有り意見や提案を聞いている。気軽に意見を聞く雰囲気作りを大切にしている。必要時は面談をしている。意見を反映させ勤務時間の工夫をしたり、希望休も取れる等、働きやすい環境作りをしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	現在の状況を管理者が把握し一人ひとりが向上心をもって勤務できるように管理者と職員とで話す機会を設けて、働きやすい環境整備または調整行っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新規職員にはミーティングでの内部研修にて少しずつ介護の仕事に対する理解が深まるよう努めており、それと併用して各職員の自発的な意見もフロアとして拾って、生かしていくよう努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内のGHにて相互に情報の交換を図って質の向上に努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人や家族に利用開始にあたり十分な説明行い、本人、ご家族が納得のいく形での入居にいたるよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	それぞれの人生観を支える思いでお互いが共同生活を行いながら、和やかな雰囲気の中で率直なご意見いただけるよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	GHはご家族の協力のもと利用者方が自宅として生活していく場であることを懇意に説明行い、面会、訪問へのご理解・ご協力へとつなげている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個別の宗教、家族間、友達などの生活歴などの情報から広く考慮したなかでGHにて本人らしい『在宅』生活で在るよう支援に努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	気のあう利用者同士や関係性などを考慮しながら共有スペースでの席も配置行ったり、職員が間に入ったほうがいい場面には適時介入もちつつ相互の良好な関係性への配慮、支援に日々職員間で情報共有しながら努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人との面会支援を行い、遠方の御家族とは電話等にて必要な状況報告行っている。	面会は玄関で制限なしで支援している。状況に応じて居室面会もある。電話・手紙や年賀状等の取次を行い、関係が途切れない支援に努めている。家族の協力で外出や法事参加等、大切にしてきた人との関わりもある。2ヶ月に1回、馴染みの訪問理美容師の整髪支援もしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気のあう利用者同士や関係性などを考慮しながら共有スペースでの席も配置行ったり、職員が間に入ったほうがいい場面には適時介入もちつつ相互の良好な関係性への配慮、支援に努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	本人、家族の意向にも配慮行いながら随時相談支援に努めている。要請があり、必要である際にはGH利用後の相談も対応しており、切れ目のない相談対応行っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	行動、言動、表情などから今の思いを知るように日々の関わりを行っている。困難な場合には今現在の様子、これまでの様子などから本人の視点に立って職員間で意見を出し合って話し合い、思いや意見の把握に努めている。	日々の関わりの中で声掛けがあったり、行動や言動・表情等から、今の思いを知り、意向の把握をしている。困難な場合は表情や行動の変化・食欲低下等の生活リズムの変化を既往歴を参考に職員間で意見交換し、本人の思いに寄り添って支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族、関係各位からも情報収集に努め、生活歴等の確認を行うなかで本人の暮らしてきた環境や在宅環境に近い暮らしの提供ができるよう努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の健康状態をよく観察し、できること、もっている残存機能に着目し自立支援に向けた取り組みを意識、行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ミーティングや日々の関わり、時には職員同士が現状に応じた支援を行っている。モニタリングを行い、ご本人の今の思い、状況把握しケアプランにも反映させている	本人や家族の希望・意向を確認し、主治医の意見・ミーティングや担当職員の意見・管理栄養士等の意見を参考に担当者会議で意見交換し趣味等も反映させ現状に即した介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎で半年後に見直し、状況変化時はその都度見直し現状に即した介護計画にしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員の意見を集め、ケアの方向性がケアマネの画一的なものとならないように日々利用者方の状態の情報把握を職員方と一緒に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者のできることを職員が利用者の状況やご家族の状況などを把握できるよう情報の共有を行い、本人に必要な支援を都度都度提供できるように努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の把握と有効的な活用方法を随時考慮している。地域実情に応じた地域の一員としての暮らしが確保できるように努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の希望を確認し、かかりつけ医を決めている。コロナ禍に伴い、感染予防に気をつけ受診支援を行っている。状況に応じて職員が付き添い、受診結果は家族や電話にて報告を行っている。また申し送りで情報共有を行っている	利用者や家族の希望を確認し、家族同伴の受診・月1回かかりつけ医からの訪問診療や職員同伴の定期受診支援を行っている。週1回の訪問看護で健康管理し24時間医療連携体制と夜間オンコール体制で適切な医療を受けられるよう支援している。必要時歯科医の往診や専門外来受診は家族同伴で受診支援している。受診結果は電話や手紙で報告している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1回の医療連携：看護師より医療相談を受けて連携している。協力機関のみらいリハビリテーションの外来とも利用者の状況を報告、相談行い、早期受診対応、受け入れ対応の執り行っている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力機関との連携、また入院先となった病院との連携を図り、可能な限りGHにて生活継続できる形を求めている。可能な限り入院後の受け入れ支援に努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階で本人と家族とで話し合いを持ち、出来ることを十分に説明しながら方針を共有し支援に取り組んでいる。訪問看護等も利用し、終末期に沿った援助に努めている	入居契約時にマニュアルに基づいて説明し同意書をもらっている。早い段階で本人と家族とで話し合いを持ち、ホームで出来る事を十分に説明しながら、主治医の状態説明後に家族の意思確認し支援している。急変時は主治医の説明後、医療機関へ救急搬送する事例もある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	連携機関であるみらいリハビリテーション病院のホットラインと医療連携の看護のオンコールを利用し夜間でも相談できるバックアップ体制ができている。マニュアル完備、また管理者への迅速な報告を周知し迅速な対応に動けるよう組織として取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議のなかで地域の避難経路、災害に対しての地域の特色など情報共有しながらGHの避難訓練にも生かせるように取り組んでいる	防災訓練を年3回、地震を1回、2回は火災訓練を実施し、消防署立会で総合訓練を実施している。ホールに掲示している避難経路の確認、避難場所は1階の駐車場、2階の踊り場となっている。自主訓練も通報、避難誘導、消火器の消火する訓練を実施し職員が動ける体制作りをしている。事業継続計画（BCP）は見直し、年1回研修でシュミレーションしている。備蓄は水・米・缶詰・乾麺等を3日分程度とカセットコンロ2台・懐中電灯2個等も準備している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の性格やこれまでの生活環境も踏まえ、言葉や口調に気をつけその人にあった声掛けを心掛けている。トイレ、入浴時にの対応についてはプライバシーや自尊心を損ねないように本人の立場に立って対応している	年1回権利擁護等について研修している。排泄や入浴時の声掛けは言葉や口調に気を付け、個々人に応じてドアの開閉、誘導も男女対面しないよう羞恥心に配慮し、本人の立場に立って支援している。入室時はノックし希望に応じてさん付けで声かけしている。衣類等は利用者の力量に応じて自己決定できる環境作りをしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定を尊重して、自己決定の難しい利用者に関してはそのご家族と話あいながら可能な限り本人の思いをくみ取るように支援に努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	けして押し付けるケアになることのないように本人のペースに重きをおいて、見守り重視のケアに努めている。また在宅であること意識し必要以上の介入は避けるように意識して支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	日常的に使用するコップなど、小さな持ち物などから彩や個性がみられるよう支援に努めている。好みの服装を把握し、本人の気にいっている衣類を着ていただくことにも配慮している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の挨拶を交代制で行い、誕生日には本人の好きなメニューで提供を行い、食材についても会話しながら楽しめるように日々努めている。またメニューがかぶらないように日々献立作成時にも配慮行っている。またし好やアレルギーなどにも考慮している	職員が食材を毎日地域のスーパーマーケットで買い物し旬野菜を取り入れて調理している。食形態はそれぞれの状態に応じて提供し、昼食は職員も一緒に食べている。テーブルを準備して庭で食べる等の工夫もしている。誕生日は好みを聞いて肉料理やちらし寿司等を提供したり、月1回料理イベントでピザ・パエリア・フライドチキン等で楽しめるよう工夫している。後片付けで台拭きを一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	年齢や体調不良なども考慮しながら日々必要量の確保ができてから細かく確認行っている。また1日の総体としての食事量に着目しながら無理強いない食事支援も意識行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	可能な限り本人の自力による支援に努め、介入は少なくするよう意識行っている。個々に応じて舌ブラシ使用、介助も行いながら清潔な口腔ケアに取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のチェック表など参照し、1日の排泄パターンを把握し、声掛け、トイレ誘導を行っている。自立されている方へは見守り、さりげなく声掛け行っからの介助支援に努めている	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、時間帯や動作等で声かけし、日中トイレ排泄支援している。排泄用品は個別に対応し、夜間のポータブルトイレの使用もある。個々の時間帯でおむつ交換し清潔保持に努めている。尿失禁が減少し経済的負担軽減につながっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	夜勤帯、日勤帯が共に日々のバイタル表にて確認有無を申し送りし、便の状況などは主治医へと受診時に細かく報告行い、内服薬調整も積極的に執り行い、変化する状況に対応行えている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日を決め、生活のリズムとして入浴楽しめるよう体制を整えている。受診がある時は本人の体力、体調考慮し別の日に支援するなど柔軟に対応している	週2.5回で午前または午後に、それぞれの状態で浴槽やシャワー浴・足浴支援を1:1介助で対応している。嫌がる場合は時間をずらす等で柔軟に支援している。入浴後は主治医処方保湿剤やホーム用のワセリンで皮膚乾燥防止に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状況、体調にあわせて座位や臥床など適切な介入行っている。不眠がみられる際にはお茶付き添いや声掛けで、本人に安心して入眠いただけるよう支援している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服時には必ず日付、朝晩の確認、本人の名前の読み上げ行っている。状態悪化の際にも内服薬の副作用疑い確認も行っており、内服薬への理解への意識つけてきている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の挨拶当番、洗濯物干し、野菜の皮むき、台ふきなど各人の生活歴や能力にあった家事参加促すことで生活に張りや小さな役割がでるよう支援に努めている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	毎日の会話の中で本人の思いや希望を知り、天候や体調を考慮しホーム庭などにて日光浴おこなうなど季節に応じて対応している	天気の良い日は庭で日光浴やホーム周辺の散歩支援をしている。年間行事計画で季節の花見を近くの桜並木見物に出かけたり、ドライブで公園に出かけコスモスの花を見物・散策している。お茶やおやつ持参で出かけたり、定期受診帰りに買い物支援している。家族の協力外出や法事に参加している利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の管理能力と家族の意向も確認行いながら可能な限りの自己管理支援に考慮行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ハガキが届いたら本人にお渡しし、読んでいただくよう配慮行っている。電話希望が発生したらご家族への電話連絡～本人との会話支援行っている。携帯電話使用支援も行っている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じることができる飾り付け、空間作りにつとめており、視覚的に季節の変化を感じていただけるように努めている。	加湿器付きの空気清浄機が有り、少し窓を開け換気を行い、エアコンで調整し、採光は遮光カーテンで行っている。折り紙で手作りの季節の作品・塗り絵等を掲示し、日めくりカレンダー・テレビ・ソファ・観葉植物等をおいて、毎朝新聞を読んでも過ごす利用者もいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間での席順は随時利用者方の関係性に最大限に考慮し、適時席変更も取り入れている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人にとって居心地の良い空間となるよう馴染の物、家具など置くことにより可能な限り自宅に近い過ごし方ができるよう配慮行っている。本人の大切にしているものの持ち込みも契約時に依頼している	ベッドや洗面台・タンス・エアコン等の設置がある。使い慣れた寝具類を持ち込み、テレビ・時計・仏壇・位牌・家族写真・ソファ・電動ひげ剃り・喋るぬいぐるみ等で居心地よく過ごせるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレも本人の動線を利用した箇所を利用して本人が迷わないように考慮した誘導を行っている		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない